

<p>コースの概要・学習量・目的</p>	<p>TOEIC を受験したことがないか、経験が浅く、受験の心構えや段取り、解答のテクニックを系統立てて学んだことがない方向けの基礎講座です。TOEIC 頻出の単語を網羅したベストセラーの単語帳と、500 点を超えることを目標とした模試付き公式指南書を使用することによって、扱う英語は本番に近いレベルを保ちつつ、頻出語句、問題形式、出題内容、スコアアップのコツを、基礎レベルで網羅的に学習し、今後の TOEIC 学習に役立つ基礎知識を持って頂くことを目的としています。地味なコースですが、大学ならではの、少しチャレンジがありつつも、「急がば回れ」の学習を受講者のみなさんと実践します。</p>
<p>使用テキスト</p> 	<p>① (単語帳) TEX 加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』←姉妹編『金の熟語』、『金のセンテンス』等があります。お間違えのないよう注意してご購入ください。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732</p> <p>② (問題集) IIBC & Educational Testing Service、『公式 TOEIC Listening & Reading 500+』 https://www.iibc-global.org/toEIC/support/prep/lr_500plus.html</p> <p>※『公式 TOEIC Listening & Reading 800+』とお間違えのないようご注意ください。</p>
<p>コースの目標</p>	<p>① 本番レベルの単語帳 (『金のフレーズ』) を使って、TOEIC 受験に必要な語彙を知る ② 公式指南書 (『公式 TOEIC Listening & Reading 500+』) を使用して、TOEIC テストの概要と、Test-taking strategies (コツ) を知る ③ 上記②によって、参加者各自が具体的な数値目標を持ち、今後の英語学習のヒントとする ④ 上記③を実現させるための自学自習の方法を知る</p>
<p>コースの目標スコア (目安)</p>	<p>500 点</p>
<p>指導方法</p>	<p>会議ツール Zoom、そして manaba を使用した遠隔授業となります。毎時授業の冒頭で単語帳と manaba を使った選択式の単語テストを行います。その後、公式指南書を講義と演習を交えながら少しずつ読み進めます。状況により、一部宿題にすることもあります。また、開講後、講師の判断や授業の開講方式、クラスの状況によりスケジュールを調整する場合があります。多少の変動に関して、ご理解頂けましたら幸いです。</p>
<p>予習・復習</p>	<p>◇ 予習…次頁のスケジュール表に従って、単語テストの準備をしておいてください。『公式問題集』の問題は事前に解いてくる必要はありません。 ◆ 復習… テキストの語句や英文を暗記するつもりでじっくり読み込みましょう。講義内容も振り返ってください。テキストにある英文を、意味を考えながらゆっくり丁寧に音読するのもお勧めです。</p>
<p>受講生のみなさんへのお願い</p>	<p>・遠隔での開催となります (いかなる理由でも欠席された場合の録画対応はありません)のでご了承ください。遠隔開催のため、状況に応じ開講後さま</p>

ざまな調整をしなければならないこともあるでしょうし、通信環境や機器の問題でトラブルが発生することもあるかと思います。このシラバスはあくまで予定です。開講後、授業の進捗などについては、担当講師の指示に従ってください。お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

- ・会議ツールは音質面で十分でないことがあります。**事前に CD や出版社のサイトから音源をパソコンなどにインストール／ダウンロードしておく、問題が発生した際に便利です。**
- ・manaba を受講生のみなさんとの連絡・開講後の学習のツールに使います。manaba へのアクセスをお願いします。

◆ 注意事項・講座スケジュール

① 注意事項（教科書の使い方・講座スケジュールの見方）

（要予習・単語テストの実施法と範囲について） 講座中毎日毎時限『金のフレーズ』を使用して、授業開始時に単語テストを行います。テストは、manaba 上に設置します。1 範囲につき 10-15 問の選択式テストです。詳しい単語テストの使い方（解答のタイミング、時間等）は講師が指示しますが、1 テスト 3-5 分で解けると理想的です。続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編として TOEIC 頻出語 1000 語（1-1000 番）、その補足として付録が 5 部（Supplement 1-5）収録されています。この TOEIC 入門コースでは、全範囲をテストします。下表「② 講座スケジュール」→「★ 単語テストのスケジュール」にある「テスト範囲」は本編の単語番号と、付録の番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1 番から 200 番が、「Supplement 3」とあるものは Supplement 3 がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。下表に従って、単語テストの準備をしておいてください。短時間にかなりの量をさらうことになります。完璧に覚えることを目指すというよりは、TOEIC のテスト範囲を知るというイメージで準備するといいと思います。

（予習不要・公式指南書について） 公式指南書は各パートの出題傾向の解説と本番形式の模試 1 回分から成ります。続く「② 講座スケジュール」→「公式指南書のスケジュール」には、時限・扱う章や問題を記してあります。下表の「Part 7 (SP)」とは、TOEIC テスト Reading Section の 147 番-175 番にある「シングルパッセージ (Single Passage)」を、「Part 7 (MP)」とは、176 番-200 番のダブル・パッセージとトリプル・パッセージを合わせた「マルチプル・パッセージ (Multiple Passage)」を意味します。問題集は授業中に計時して解き、講師が解説を行いますので、事前に解いてくる必要はありません。なお、クラス状況に応じて、担当講師の判断で 1) 一部の問題を宿題にする・解説を省く、2) 1 限の授業に 2 限の内容を前倒しにする、2 限の授業

の内容の一部を次の3限に行くなどの調整を加えることがあります。ご了承ください。

② 講座スケジュール…単語テスト、模試問題集、講義のポイントに分けてスケジュールを作成してあります。時間割は1限 10:00～11:40、2限 12:30～14:10、3限 14:20～16:00 です。

★ 単語テスト（金フレ）のスケジュール

授業日			時限・回	テスト範囲	時限・回	テスト範囲	時限・回	テスト範囲
第1日	8/24	木	1限 (1)	1-200	2限 (2)	201-400	3限 (3)	401-500
第2日	8/25	金	1限 (4)	501-600	2限 (5)	601-700	3限 (6)	701-800
第3日	8/28	月	1限 (7)	801-900	2限 (8)	901-1000	3限 (9)	Supplement 1
第4日	8/29	火	1限 (10)	Supplement 2	2限 (11)	Supplement 3	3限 (12)	Supplement 4
第5日	8/30	水	1限 (13)	Supplement 5	2限 (14・ア)	なし		

★ 公式指南書のスケジュール

授業日			時限・回	教科書の章	扱う大問・付録	時限・回	教科書の章	扱う大問・付録	時限・回	教科書の章	扱う大問・付録
第1日	8/24	木	1限 (1)	出題の傾向	Part 1 ～ Part 2	2限 (2)	出題の傾向	Part 2 ～ Part 3	3限 (3)	出題の傾向	Part 3 ～ Part 4
				基本の70問	Set 6		基本の70問	Set 7 & 8		基本の70問	Set 9 & 10
第2日	8/25	金	1限 (4)	出題の傾向	Part 5 ～ Part 6	2限 (5)	出題の傾向	Part 7 (SP)	3限 (6)	出題の傾向	Part 7 (MP)
				基本の70問	Set 1		基本の70問	Set 2 & 3		基本の70問	Set 4 & 5

第3日	8/28	月	1限(7)	本番形式テスト	Part 1	2限(8)	本番形式テスト	Part 2	3限(9)	本番形式テスト	Part 3
第4日	8/29	火	1限(10)	本番形式テスト	Part 4	2限(11)	本番形式テスト	Part 5	3限(12)	本番形式テスト	Part 6
第5日	8/30	水	1限(13)	本番形式テスト	Part 7 (SP)	2限(14・了)	本番形式テスト	Part 7 (MP)			

★ ここまでシラバスをご覧くださいありがとうございます。この授業は、オンラインの授業となります。第一回の授業の集合方法等に関しては、8/23(水)正午までにmanabaのコースニュース・リマインダーを通じて、担当講師から指示がありますので、manabaへのアクセスをお願いします。その際、掲示板やコースニュースの通知の受信設定の確認等も可能な範囲でお願いいたします。また、開講前までに、単語帳『金のフレーズ』をざっと見ておくと学習効果が上がると思います。時間割は1限 10:00～11:40、2限 12:30～14:10、3限 14:20～16:00です。

<p>コースの概要・学習量・目的</p>	<p>国際センター主催の TOEIC 講座における定番講座です。次の 1)~5)のいずれかに該当する方向向くコースです： 1) 文法学習に興味がある 2) TOEIC テストを網羅的に学習したい 3) 何度か受験しているが、スコアが停滞している 4) リスニングの後半で正答率が下がる 5) リスニングに比べてリーディングのスコアが目立って低い</p> <p>授業では、TOEIC 対策本のベストセラー、単語帳『金のフレーズ』、Part 5 の問題形式で TOEIC に出題される文法を学ぶ問題集『でる 1000』、に加え、解き方のコツが詳しくわかる模試問題集『奪取の模試』の合計 3 冊のテキストを使って TOEIC テストに頻出の語句、文法事項、問題形式を学習します。この過程で受講者のみなさんの弱点を発見・解決し、近い将来のハイスコア獲得への足がかりをつかむことを目的としたコースです。網羅的に TOEIC 対策を行います。このクラスでは、文法学習を重視します。学習量はかなりのものになりますが、それによって受講生のみなさんに自信を持って頂くこともこのコースの重要な目的の 1 つです。</p>
<p>使用テキスト (3 冊合計約 5,000 円) コピーの用意はありません。時間に余裕を持ってご用意ください。</p>	<p>① (単語帳) TEX 加藤著、『TOEIC L & R TEST 出る単特急 金のフレーズ』 ← 『金のセンテンス』『銀のフレーズ』等の姉妹編があります。お間違えないよう注意してご購入ください。 https://publications.asahi.com/ecs/detail/?item_id=18732</p> <p>② (文法書) TEX 加藤著、『TOEIC L&R テスト 文法問題 出る 1000 問』 https://www.ask-books.com/978-4-86639-083-3/</p> <p>③ (模試) 濱崎潤之輔著、『TOEIC L&R テスト 目標スコア奪取の模試』 https://www.obunsha.co.jp/product/detail/094919</p> 
<p>コースの目標</p>	<p>① TOEIC テスト向けの単語力を強化する ② スコア停滞の原因、またはリスニング・リーディングの伸び悩みの大きな原因である文法知識の不足を補う ③ TOEIC テストの形式を知り、スコアアップのコツ (ストラテジー) を知る ④ 講座中、または参加者各自の目標期限内に各自の目標スコアを獲得する ⑤ 上記④を実現させるための総合的な学習法を知る</p>
<p>コースの目標スコア (目安)</p>	<p>600 点</p>
<p>指導方法</p>	<p>会議ツール Webex または Zoom、そして manaba を使用した遠隔授業となります。各回授業の冒頭で選択式の単語テストを行います。その後、文法問題集と模試問題集をバランス良く学習します。授業の進度や当日扱うパート・問題の難易度により、担当講師の判断で扱いきれなかった問題は翌日に回したり、宿題となることがあります。この講座は学習内容が多岐にわたるため、学習プランの多少の変動に関してご理解頂けたら幸いです。</p>
<p>予習・復習</p>	<p>◇ 予習…単語テストの準備のみ (詳細は次頁を参照)。文法問題集と模試問題集の問題は事前に解く必要はありません。 ◆ 復習…文法問題集と模試問題集の問題を解き直すといいと思います。少し記憶が薄れたころ、このシラバスと同じベースで解いたり、あるいは講座後に模試のように一気に解くのもお勧めです。時間がない時は、間違えた問題の英文を意味を考えながらゆっくり丁寧に音読するのもお勧めです。また、文法問題集は合計 1000 問以上あり、授業では全て扱えないため、授業で扱わなかった問題を計時して解くのも良いでしょう。</p>
<p>受講生のみなさんへのお願い</p>	<p>・遠隔での開催となります (いかなる理由でも、欠席された場合の録画対応はありません) にご了承ください。また、学生のみなさんのカメラやマイクの on/off の決定は、授業の性質や教育効果を検討した上で担当講師が判断し、開講直前にアナウンスします。遠隔開催のため、開講後さまざまな調</p>

整をしなければならないこともあるでしょうし、通信環境や機器の問題でトラブルが発生することもあるかと思います。このシラバスはあくまで予定です。開講後、授業の進捗などについては、担当講師の指示に従ってください。お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

- ・Webex や Zoom 等は音質面で十分でないことがあります。事前に CD や出版社のサイトから音源をパソコンなどにインストール/ダウンロードしておく、問題が発生した際に便利です。
- ・manaba を受講生のみなさんとの連絡・開講後の学習のツールに使用します。manaba へのアクセスをお願いします。

◆ 教科書の使い方・講座スケジュール

① 教科書の使い方と講座スケジュールの見方をご説明します

(単語テストの実施法と範囲について) 単語帳、『金のフレーズ』は要予習です。下記「② 講座スケジュール」の「★単語テスト (金フレ) のスケジュール」に従って、単語テストの準備をしておいてください。毎日各時限の開始時に『金のフレーズ』を使用して、単語テストを行います。テストは、1 範囲につき 10 問~15 問の選択式で、テストは、manaba 上に設置します。解答時間等は講師が指示しますが、3-5 分の予定です。続いて、テスト範囲の説明をします。単語帳『金のフレーズ』には、本編として TOEIC 頻出語 1000 語 (1-1000 番)、その補足として付録が 5 部 (Supplement 1-5) 収録されています。この文法強化コースでは、全範囲をテストします。下表「★単語テスト (金フレ) のスケジュール」にある「テスト範囲」は本編の単語番号と、付録の番号に言及したものです。例えば「1-200」とあるものは、1 番から 200 番が、「Supplement 3」とあるものは Supplement 3 がテスト範囲であることを示します。単語帳の目次を併せてご覧いただくと収録ページや構成がおわかりいただけると思います。単語番号は、単語帳を見開きにした時の左ページにある例文の左に付記されています。短時間にかかなりの量をさらうことになります。完璧に覚えることを目指すというよりは、TOEIC のテスト範囲を知るというイメージで準備するといいいと思います。

(文法問題集『でる 1000』について) 予習不要です。授業で問題を計時して解きます。このコースの主なコンテンツである『でる 1000』は、7 章に分かれており、TOEIC テストを受験する際に特に重要になってくる文法事項が 7 つの観点から学習できるようになっています。各章はさらに下位セクション、解説・例題・演習問題などに分かれています。1 日 1 章~2 章のペースで問題を解きます。続く「② 講座スケジュール」の「★文法問題集『でる 1000』と模試問題集『奪取の模試』のスケジュール」と「★『でる 1000』と『奪取の模試』各講義のポイント」に、毎回の授業で取り扱う章や学習ポイント、問題番号を書いておきました。また、付記した「章の完・未完の別」とは、その章の問題を全て解き終わる予定か否かということを示したものです。問題番号は、『でる 1000』の右頁にある通し番号ではなく、左頁の問題番号で記しました。少々複雑ですが、1 度授業を受ければおわかり頂けると思います。わからないことは担当講師に質問してください。

(模試問題集について) 予習不要です。授業で問題を計時して解きます。 模試問題集には模試1回分が収録されていますが、今回の講座では、これを少しずつ扱い、TOEIC テストの全体像を学習します。各日の学習範囲については、続く「② 講座スケジュール」の「★ 文法問題集『でる1000』と模試問題集『奪取の模試』のスケジュール」と「★ 『でる1000』と『奪取の模試』各講義のポイント」をご覧ください。

② 講座スケジュール…単語テスト、でる1000 & 模試問題集、講義のポイントに分けてスケジュールを作成してあります。時間割は1限 10:00～11:40、2限 12:30～14:10、3限 14:20～16:00です。

★ 単語テスト (金フレ) のスケジュール

授業日			時限・回	テスト範囲	時限・回	テスト範囲	時限・回	テスト範囲
第1日	8/24	木	1限 (1)	1-200	2限 (2)	201-400	3限(3)	401-500
第2日	8/25	金	1限 (4)	501-600	2限 (5)	601-700	3限(6)	701-800
第3日	8/28	月	1限 (7)	801-900	2限 (8)	901-1000	3限(9)	Supplement 1 と 2
第4日	8/29	火	1限 (10)	Supplement 3	2限 (11)	Supplement 4	3限(12)	Supplement 5 (了)
第5日	8/30	水	1限 (13)	なし	2限 (14・了)	なし		

★ 文法問題集『でる1000』と模試問題集『奪取の模試』のスケジュール…複雑で申し訳ありません！この講座は1日3時間が4日間、最終日のみ2時間で、合計14時間あります。この14時間で、講座の主なテキスト『でる1000』と奪取の模試（下表では、「奪取」と表記します）を学習します。それぞれの問題集には、7時間ずつ振り分けています。講座の前半は、1,2時限をでる1000の学習に、3限を模試問題集の学習に充てています。表を色分けしてみました。講座の後半、第4日目からは模試問題集の学習量を増やし、仕上げの学習に入ります。授業の状況にこのスケジュールが合わない場合、担当講師の判断で進度や1日の授業デザインを変更することがあります。その場合は、担当講師の指示に従ってください。

授業日	時限・授業回	使用テキストの回数	内容	時限・授業回	使用テキストの回数	内容	時限・授業回	使用テキストの回数	内容

第1日	8/24	木	1限(1)	でる1000 1回目	第1章 品詞	2限(2)	でる1000 2回目	2章 動詞	3限(3)	奪取 1回目	Part 1 & 2
第2日	8/25	金	1限(4)	でる1000 3回目	3章 前置詞/接続詞	2限(5)	でる1000 4回目	4章 代名詞	3限(6)	奪取 2回目	Part 3
第3日	8/28	月	1限(7)	でる1000 5回目	5章 前置詞	2限(8)	でる1000 6回目	6章 関係詞	3限(9)	奪取 3回目	Part 4
第4日	8/29	火	1限(10)	でる1000 7回目	7章 ペア表現等	2限(11)	奪取 4回目	Part 5	3限(12)	奪取 5回目	Part 6
第5日	8/30	水	1限(13)	奪取 6回目	Part 7 (1) SP	2限(14・了)	奪取 7回目	Part 7 (2) MP			

※ また、『でる1000』と『奪取の模試』で扱う詳しい問題番号、問題数、講義のポイントは、さらに下表「★『でる1000』と『奪取の模試』各講義のポイント」をご覧ください。

★『でる1000』と『奪取の模試』各講義のポイント…『でる1000』と『奪取の模試』には講座の14時間を半分に割って、7時間ずつを各テキストの学習に充当しています。この表では、上記「★文法問題集『でる1000』と模試問題集『奪取の模試』のスケジュール」に書き切れなかった、授業で扱う問題番号や講義のポイントを、日にち/時限ではなく、各テキストに振り分ける授業回(1~7回)毎に記します。

授業回	文法問題集：でる1000 範囲・合計問題数・章の完/未完の別			模試問題集：扱うパート・問題番号		学習のポイント(講義内容等)
1回目	1章・品詞問題 ★ ちょっと多めに割り振っています。後の時間に回す問題があるかもしれません。	① 解き方 ② トレーニング ③ 基礎編 ④ 応用編 ⑤ 発展編	例題2問 1-32 1-10 1-10 1-10 (合計64問・未完)	① Part 1 ② Part 2	1-6 7-31 (合計31問)	・講座に慣れる ・リスニングパート全般について ・Part 1 & 2 ストラテジー
2回目	2章・動詞問題	① 解き方 ② トレーニング ③ 実戦問題	例題3問 1-9 1-60 (合計72問・未完)	Part 3	32-70 (合計39問)	・Part 3 ストラテジー
3回目	3章・前置詞 or	① 解き方 ② トレーニング	例題1問 1-8	Part 4	71-100	・Part 4 ストラテジー ・リスニング問題全体の振り返り

	接続詞問題	③ 実戦問題	1-58 (合計 67 問・完)		(合計 30 問)	
4 回目	4 章・代名詞問題	① 解き方 ② トレーニング ③ 実戦問題	例題 2 問 1-5 1-30 (合計 37 問・完)	Part 5	101-130 131-146 (合計 46 問)	・リーディングパート全体について ・Part 5 ストラテジー
5 回目	5 章・前置詞問題	① 解き方 ② トレーニング ③ 実戦問題	例題 1 問 1-5 1-50 (合計 56 問・完)	Part 6	147-175 (合計 16 問)	・Part 6 ストラテジー ※この回は扱う問題数が少ないため、場合によっては Part 7 の学習へ進みます。
6 回目	6 章・関係詞問題	① 解き方 ② トレーニング ③ 実戦問題	例題 1 問 1-5 1-10 (合計 16 問・完)	Part 7 (1)	176-185 (合計 29 問)	・Part 7 ストラテジー (全般&シングルパッセージ)
7 回目	7 章・ペア表現等問題	① トレーニング ② 実戦問題	1-12 1-35 (合計 47 問・完)	Part 7 (2)	186-200 (合計 25 問)	・Part 7 ストラテジー (ダブル&トリプルパッセージ=マルチプルパッセージ) ・今後の学習について

★ 複雑なシラバスをご覧頂きありがとうございます (お疲れ様でした!)。この授業は、オンラインの授業となります。第一回の授業の集合方法等に関しては、8/23 (水) 正午までに manaba のコースニュース・リマインダーを通じて、担当講師から指示がありますので、manaba へのアクセスをお願いします。その際、掲示板やコースニュースの通知の受信設定の確認等も可能な範囲でお願いいたします。また、開講前までに、単語帳『金のフレーズ』をざっと見ておくと学習効果が上がると思います。時間割は 1 限 10:00~11:40、2 限 12:30~14:10、3 限 14:20~16:00 です。

以上です。